

制度財源検討会（第4回）開催のお知らせ

2007年の地域公共交通活性化再生法成立後10年超経過し、また、交通政策基本法制定(2013)からも相当経過しています。しかしながら、地域の公共交通は充実するどころか衰退が問題となっています。交通分野だけの充実に向けての問題、課題の指摘のみならず、人口減少や新技術の台頭を見据えた新たな方策を考えなくてはならないようになりました。

そこで、大都市圏縁辺部及び地方都市の地域公共交通サービスに焦点を当て、民間の自由競争と独立採算を基本とする日本の常識(世界の非常識)を制度的に見直すことを目標とします。それには、単に独立採算制を議論するだけでなく、運輸連合(独語圏)、総合交通局(英国)等の合意形成方策を含めた方策を手本に検討しつつ日本型の解決法を構想するべきと考えます。その議論の場として「制度財源検討会」を設けました。

これまで、検討会のテーマについての議論をしていただいたことに続き、国の立場から法制度の再点検と制度改革の課題、事業者の立場から路線バス事業の持続可能性についての取り組みの報告をいただいて議論を進めてまいりました。

今回は、水戸市市長公室交通政策課長 須藤文彦氏 をお迎えし、一般的な地方公共団体におけるバス路線再編の取組から見てきた、国と地方の役割分担のあり方などについてお話を伺い、皆様と意見交換を行うことといたしました。

皆様には、「制度財源検討会」に引き続きの開催を呼びかけ、奮ってご参加をお願いしたいと思います。

(これまでの経過)

第1回 2019. 3. 22 「地域公共交通の制度改革の方向」

関西大学教授 宇都宮 浄人 氏

第2回 2019. 4. 26 「地域公共交通イノベーションの課題」

国土交通省公共交通政策部交通計画課長 蔵持 京治 氏

第3回 2019. 6. 24 「路線バス事業の持続可能性の確保に向けて」

(株)みちのりホールディングス代表取締役グループ CEO 松本 順 氏

NPO 法人 エコエネルギーによる地域交通システム推進協会(AREEV)理事長
人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)代表幹事
竹内 佑一

● 制度財源検討会 第4回

日時 2019年8月2日(金) 18時30分より

場所 中央大学駿河台記念館 620教室

<http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/surugadai/>

講師 水戸市市長公室

交通政策課長 須藤 文彦 氏

題目 「普通の地方都市から考える交通政策の役割分担」

● 参加費 1,000円(資料代)

- お申込み Eメールにてご芳名、ご所属を下記アドレス宛てにお申し込みください。
人と環境にやさしい交通をめざす協議会 小田部(コタベ)
申込先 ⇒ a.kotabe@k8.dion.ne.jp